

# 磐田市ラグビーフットボール協会

加盟人数 75名

代表者名 会長 鈴木 亨司

創立年 平成10年

## 【組織】

### 1.協会の概要

設立当初の本協会は、ヤマハ発動機ラグビー部（前年国体準優勝・関西Aリーグ4位）を中心に数チームでの活動であった。平成15年よりトップリーグが始まり、ヤマハ発動機は「スポーツのまち磐田」の象徴の一つとして、活躍が期待されているところである。

平成16年より市内小中学校の校庭の芝生化事業が始まり、東部小学校を中心にタグラグビーが導入された。同年、全国小学生タグラグビー選手権大会で準優勝の快挙をあげ、その後も、県・東海大会を制覇し全国大会に出場している。また、平成23年度から実施された小学校体育指導要領の解説書にタグラグビーが明記されたことから、各小学校においてその取組が大いに注目された。

そこで、小学校におけるタグラグビーの普及を図りながら、スポーツのまちづくりの一端を担い、生涯スポーツの架け橋となることやラグビーフットボールの健全な発展を協会の目的として、新たな歩みをスタートさせた。ヤマハ発動機の活躍を筆頭に、中・高校・ラグビースクール等と底辺の活性化、タグラグビーの普及活動を通してラグビー人口の拡大を願っている。

### 2.協会の紹介

- 平成10年 磐田ラグビーフットボール協会設立  
磐田市体育協会・静岡県ラグビーフットボール協会に加盟
- 平成14年 ヤマハラグビースクール開校（県西部地域小中学校ラグビー普及に寄与）
- 平成18年 ジュピロカップ第1回タグラグビー大会を開催
- 平成19年 磐田市ラグビーフットボール協会に名称変更
- 平成20年 個人会員の募集を開始
- 平成21年 設立10周年
- 平成22年 トップリーグ応援バスツアー企画を始める。
- 平成23年 学習指導要領体育解説書にタグラグビーが明記され、講習会の依頼が多くなる。

- 平成27年 第10回ジュピロカップ開催
- 平成29年 第12回ジュピロカップと磐田市ラグビーフェスティバルを同日開催

### 3.役員紹介

	〈会長〉	〈理事長〉
平成19年度～	鈴木亨司	松下 悟
平成29年度～	鈴木亨司	内田正尚

## 【現在の活動状況】

### 1.競技の魅力

ラグビーは、楕円球を使うコンタクトゲームで、他の球技と違いパスを前に送ることができないのが大きな特徴になっている。近年、タグラグビーが注目され始め、学習指導要領の解説書に記載されてから、学校体育の中にも広がりを見せている。ラグビー精神「ワンフォアオール・オールフォアワン」は、社会に必要な協力性や個を大切に作る姿勢の育成に大きく役立つ物だと考えられる。

### 2.活動状況

#### (1)小中学校ラグビー普及活動

磐田市には、トップリーグ加盟チームであるヤマハ発動機ジュピロ、磐田市を拠点として活動している磐田クラブとヤマハ発動機ラグビースクールの3団体がある。毎年、ヤマハ発動機ジュピロホームゲーム開催時には、試合運営サポートをしたりタグラグビー交流会の運営を補助したりしている。また、磐田市内小中学校を中心にラグビー体験教室やいわたスポレクフェスティバルやジュピロマラソンなどに参加し、ラグビー普及に努めている。

#### (2)タグラグビー教室

平成19年度より、大人を対象としたタグラグビー教室を開催して以来、毎年企画をしてきた。平成23年度の学習指導要領体育の解説書にタグラグビーが明記されてからは、教員向けの講習会も行ってきた。近年では参加者が減りつつあるが、普及が進んだ結果とも捉えている。

#### (3)タグラグビー講習会講師派遣

タグラグビー教室に参加してタグラグビーに興味をもってくれた指導者の団体からの要請で、講師を派遣してきた。また、2019年に日本でのワール

ドカップ開催が決定し、更には袋井市のエコパでその試合が開催されることになった。その近隣の市でもラグビー熱が盛んになり始め、磐田市以外の団体からも講習会講師の依頼が多くなった。他市でも小学生のタグラグビー教室を開催することになり、講師として協会の指導者を派遣している。

#### (4) タグラグビー大会

平成18年度に、「ジュピロカップ第1回タグラグビー大会」をヤマハ発動機人工芝グラウンドで開催して以来、平成29年度には12回目の大会を開催した。この12回の中には、一般の部や中学生の部を設けた大会もあったが、ここ数年は、小学生のみの大会となっている。チーム数としては毎年40を超えるチームが参加をしている。

第12回大会においては、東京、愛知の県外、掛川市、浜松市など磐田市外からのエントリーも多く、大会は大いに盛り上がった。



ジュピロカップ終了後の記念撮影

#### (5) トップリーグ応援バスツアー

磐田市には、トップリーグに所属する「ヤマハ発動機ジュピロ」がある。平成22年度よりこのチームを応援するために、アウェイゲームの応援バスツアーを企画している。22年度以降、毎年1～2回のツアーを実施してきた。

#### (6) 磐田市ラグビーフェスティバル

平成29年度、ジュピロカップタグラグビー大会とラグビーフェスティバルを同日開催した。少しでもラグビーを身近なものに感じてもらおうという企画。ヤマハ発動機ジュピロの選手にも参加してもらい、タックル体験、キック体験、タグ取り体験、ラグビーボール体験の4つのブースを設けて誰でも参加できるものとした。選手に来ていただいたことで予想以上の盛り上がりを見せた。



ラグビーフェスティバルの様子

#### 【今後の展望】

2019年、ワールドカップが日本で開催される。これまで以上にラグビーに対して関心が高くなる時である。これまでラグビーを身近なものに感じてもらうとタグラグビーの普及に力を入れてきた。学校体育でも年間計画の中にタグラグビーを位置付ける学校は少なくない。ワールドカップ以降もラグビーの楽しさをいろいろな年代の人たちに感じてもらうための活動を続けていきたい。